

## 事業承継・引継ぎ支援センターの支援ストーリー

### 第23話

父の後を継ぐだろうと思っていた長男が離脱

次男が後継者の意思を固めるも先代とは考え方でぶつかることも  
それを見返すために猛勉強し、支援者の力も積極的に活用した

親族内承継

油圧技研株式会社  
(岡山県浅口市鴨方町)

### 第24話

コロナ禍による業績低下と後継者不在に直面  
センターの支援を受け、事業承継の解決策を模索  
マッチングを経て若手譲受者と出会い、未来を託した

第三者承継

雅商会  
(鹿児島県鹿児島市岡之原町)

# 後継者の熱き想いを受けてセンターと商工会が伴走支援

事業承継・引継ぎ支援



意見が合わないこともあるが  
向かう先は1つ

前経営者 中西 徳雄 さん

45年間培った技術や  
ノウハウを将来に生かしたい

後継者 中西 祐二 さん

岡山県事業承継・引継ぎ支援センター

承継コーディネーター 金原 光広さん

後継者が会社の将来を真剣に考えるからこそ課題も見えてくる。その課題に支援者も含め向き合うことが成功につながります。



## 独立・創業から仕事一筋で

油圧プレス機や研磨機、ジャッキ、リフターなど、ものづくりの現場で活躍する工作機械の多くに組み込まれ、モノを動かしたり力を伝達したりする機能を担っている油圧装置。岡山県浅口市に本社を置く油圧技研は、そうした油圧装置の修理やメンテナンス、さらにはオーダーメイドによる油圧ユニットの設計・製作まで手掛ける。

同社の創業は1979(昭和54)年。現会長の徳雄さんが、それまで勤めていたプレスメーカーから独立する形でスタートした。以来45年、油圧装置を専門に取り扱う会社として顧客の厚い信頼を得てきた。「ゼロからのスタートでしたし修理やメンテナンスが主ですから、いつ声がかかるか分からない。とにかく仕事があれば休みなしで対応していました」という徳雄さん。後継ぎのことを考えている余裕もなかったそうだ。

油圧技研株式会社 油圧装置のメンテナンス事業



- 創業：1979(昭和54)年
- 所在地：岡山県浅口市 鴨方町小坂東 2614-1
- TEL：0865-44-7626

## 兄弟で入社するも兄が離脱

そんな中、徳雄さんの長男と次男が相次いで同社に入社。「この時点では後継ぎとかは特に考えていませんでした。一緒にやれたらいいなという程度でしたね」(徳雄さん)。しかし長男は徳雄さんと考え方が合わずに退社してしまう。「一緒に働いていたころは、兄が後を継いで自分はサポート役として…」と考えていた次男の祐二さんは、兄の退職で事業承継を意識するようになったという。

「会社には45年間に培った技術やノウハウがあります。しかし自分には経営の知識も知恵もなかったので、本やセミナーなどで猛勉強しました」(祐二さん)。しかしこのころの会社の経営状況はかなり厳しく、このままではダメになると感じた祐二さんは、飛び込み営業やホームページの作成など、自分ができることから動き始めた。

## 転機 // 後継者育成塾で学ぶ

経営を学ぶため無料のセミナーや講習会などにも積極的に参加していた祐二さんは、岡山県産業振興財団が後継者育成塾を開催していることを知り、早速受講。「カリキュラムはもちろん、ここで他社の後継者の方々と出会って話が聞けたことも勉強になりました」(祐二さん)。

## 1人でやることには限界がある だからこそ外部の力を積極活用

育成塾では、他の受講生から「商工会なら」という話を時折耳にしたという祐二さん。それまで経営に関して相談する先が分からず悩んでいたこともあり、早速商工会に出向いた。「本で勉強したりセミナーを受講したりしても、一人でできることには限界を感じていたんです。そこで商工会に相談したところ力を貸してもらえることになりました」。これをきっかけに、経営の相談だけでなく持続化補助金の申請支援など、商工会から様々なサポートを受けることができるようになった。

## 支援 // 誰よりも会社を想う

「祐二さんはとにかく一生懸命この会社の将来について考えていましたね。会社が抱える課題を何とかしたいという後継者としての熱い想いが伝わってきました」と語るのは、当時浅口商工会で経営指導員だった岡山県商工会連合会の山岡稔さん。そこから継続的に支援することになった山岡さんは、油圧技研のこれからについて先代からもじっくり話を聞いた上で、同社の事業承継をサポートしていった。



た山岡さんは、油圧技研のこれからについて先代からもじっくり話を聞いた上で、同社の事業承継をサポートしていった。

## 考え方は違っても目指す先は同じ

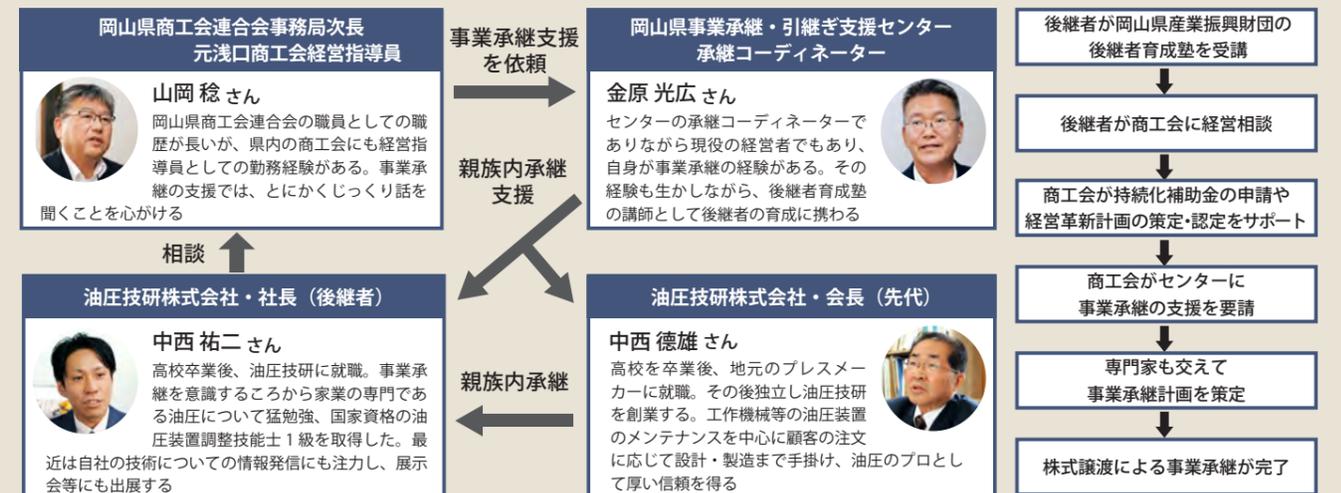
事業承継で障害になりがちなのが、先代と後継者の会社の将来に関する考え方の違いだ。山岡さんは祐二さんに事業承継計画の策定を勧める。今どんな課題があり今後どう解決していくべきか、先代と後継者のそれぞれの考え方を明らかにすることが狙いだった。そこからは岡山県事業承継・引継ぎ支援センター(以下センター)の金原光広さんがコーディネーターとして参加した。「計画書と言われてもどうすればいいのかわからなかったのですが、山岡さんや金原さんにアドバイスをいただき自分の考えを落とし込んでいきました」と祐二さんは振り返る。

まだ親子間で意見がぶつかることもあるというが、「考え方が違っても目指すところは同じ。ただ、あまり無理せずに地に足のついた経営をやってほしいと思っています」と徳雄さん。「自分は経営者としても技術者としてもまだまだです。会長にはもうしばらくお目付け役を担ってもらいたいですね」(祐二さん)。

## 成功のポイント

油圧技研の経営を支えてきたのは現会長の豊富な経験と技術力です。会長から見ると祐二さんは頼りなく見えるかもしれませんが、彼は誰よりも会社の未来のことを考えていますし、外部の支援を積極的に活用しています。そんな後継者としての想いや前向きな取り組みが成功のポイントと言えるでしょう(金原さん)。

## 岡山県事業承継・引継ぎ支援センターの支援概要と事業承継の流れ



若い世代に  
チャンスを与えたい

譲渡者 梶 雅哉 さん

先人の信頼を  
未来へつなぐ挑戦

譲受者 上園 文也 さん

鹿児島県事業承継・引継ぎ支援センター

エリアコーディネーター 安田 誉浩 さん

信頼できる後継者に想いを託し、次世代の視点を尊重して、事業の未来を優しく見守っていく姿勢が成功したと思います。

## 地域の車社会に応える信頼

鹿児島県は、豊かな自然環境と広い地域性により、日常生活で車が不可欠な地域である。こうした背景の中、梶さんは1987年、28歳の時に雅商会を設立。高品質なエンジンオイルの卸業で事業をスタートさせた。当初はエンジンオイルを通じて、自動車販売業者や整備工場を



対象に、それぞれの顧客のニーズに応じた商品提案を行うことで積極的な営業活動を展開。こうした努力により、梶さんと地元業者との信頼関係が築かれ、安定した受注の確保へとつながっていった。

ところが、近年はハイブリッドカーや電気自動車の普及によりエンジンオイルの需要が減少し、梶さんは将来への不安を感じるようになった。その一方で、鹿児島特有の桜島からの火山灰が車体にダメージを与えることから、自動車販売業者からボディや窓ガラスの手入れを求める声が寄せられていることに気づく。梶さんはこうしたニーズに応えるべく、車のボディコーティングや窓ガラスの保護処理など新しい事業に着手。顧客に柔軟に対応し、誠実にサービスを提供することで信頼をさらに深め、地域に根ざした経営基盤を強化していった。

## 視力低下とコロナ禍の影響

当時、60歳を目前にしていた梶さんは、年齢を重ねるにつれ視力の衰えを感じるようになっていた。ボディコーティングのような繊細な作業では、わずかなキズも見逃せず、以前のように安定したサービスの提供が難しくなってきたことで、顧客に対する責任の重さと不安が日々増していったという。さらに、コロナ禍が追い打ちをかけた。それまで多くの在庫を抱えていた自動車販売業者も、コロナ禍による新車供給の遅れで車が不足し、販売店から車が消える事態となった。その結果、ボディコーティングの需要も一気に減少した。

## 転機 // 未来を託す決意

こうした不安を抱え、梶さんは次第に事業承継を考えるようになった。これまで築き上げてきた雅商会を次世代に引き継ぎ、顧客からの信頼を守り続けたいという思いが強まっていた。そこでまず従業員に声をかけ、後継者としての適任者を探したが、経営に前向きではない従業員もおり、事業を引き継ぐには難しい状況だった。こうした背景から、第三者への譲渡を検討し、鹿児島県事業承継・引継ぎ支援センター（以下センター）に相談。信頼できる後継者を見つけるための新たな一歩を踏み出すことを決意した。

## 独立の決意と支援依頼

自動車業界で働いていた上園さんは、家族や親しい保険業者に相談し、独立の可能性を探っていた。コロナ禍の影響で業界の厳しい現実を経験したことも独立を決意した要因になった。当初、自分で譲受先を探したがうまく進まず、最終的には金融機関の紹介で、センターの安田さんに相談した。

## 支援 // 信頼でつなぐ事業承継

上園さんの依頼を受けたセンターの安田さんは、起業条件を丁寧に確認し、上園さんが自動車整備の経験を持っていることを踏まえて、譲渡を希望する県内の自動車整備関連事業者のリストを提示するなど、柔軟なサポートを行った。その結果、上園さんは梶さんの事業の魅力に惹かれ、譲受先として希望した。その後、安田さんは梶さんに「譲受したい若者がいる」ことを伝え、両者のトップ面談を実施し、事業承継の機会を支援した。

複数回の面談と実務指導を経て、梶さんは上園さんについて「業務への熱意と責任感が伝わってきた」と評価。一方の上園さんも、梶さんを「話し上手で知識が豊富」と信頼し、多くのことを学べると感じたという。

安田さんは、契約プロセスを順調に進めるため、詳細な計画書の作成や契約条件の提示を調整し、スムーズな進行を支援した。さらに最終的な契約に向けては弁護士のリーガルチェックも実施し、双方の不安を取り除くための対応を徹底した。こうして複数回の見直しを経て、念入りな契約内容が整備され、事業承継が実現した。

## 支援で実現した独立開業

「ただお願いしただけ。センターの支援がなかったら事業承継できなかったと思う」（梶さん）と語り、事業承継の手続きが円滑に行えたと感想を語った。一方、上園さんも「安田さんが譲渡希望の事業者リストを迅速に提供してくれたことで、独立への道筋が明確になり、嬉しかった」と述べた。

上園さんは、義弟と共同で株式会社雅商会を設立し、梶さんが築いてきた信頼を受け継ぐことにした。今後は整備工場の増設や設備投資を積極的に進め、会社の基盤を強固にする計画を掲げており、鹿児島県でトップの自動車整備会社を目標としている。将来的に「梶さんから成長したねと言われるような会社になりたい」と述べた。

## 株式会社雅商会

## 自動車整備業

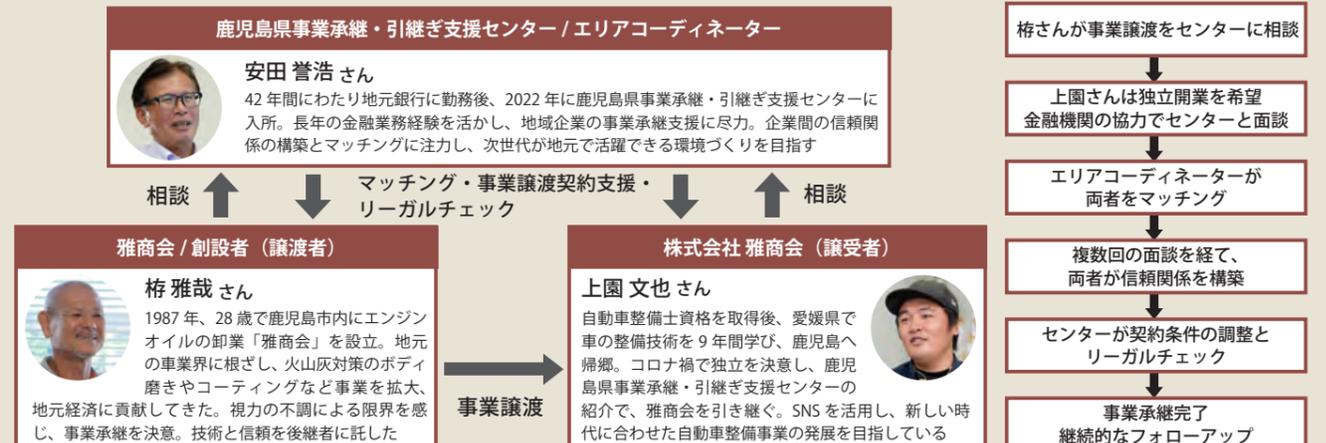


- 創業：1987（昭和62）年
- 設立：2023（令和5）年
- 所在地：鹿児島県薩摩川内市水引町 3397-4
- TEL：0996-41-3790

## 成功のポイント

今回の事業承継が成功した要因は、売り手と買い手が互いの状況や希望をしっかりと理解し合い、信頼関係を築けた点にあると思います。梶さんは「顧客への信頼を守りたい」という思いが強く、上園さんもその期待に応える姿勢で臨んだことが、承継成功の鍵となったのでしょうか（安田さん）。

## 鹿児島県事業承継・引継ぎ支援センターの支援概要と事業承継の流れ



# 各エリアの事業承継・引継ぎ支援センターの取り組み

岡山県

## 承継の種類に関わらず伴走支援 岡山県事業承継・引継ぎ支援センター



「問題が深刻になってから来られるケースが多いですが、そうなる前に気軽に相談してください」（岡山県事業承継・引継ぎ支援センター承継コーディネーター・金原光広さん）

瀬戸内海に面した岡山県は、水島コンビナートをはじめとする工業団地が整備され製鉄所や自動車メーカーなどが大規模な拠点を構えている。そうした企業・工場に部品や材料を納める中小企業も県内に多く存在している。そうした中小企業が抱える経営課題のひとつが事業承継問題だ。コロナ禍で経営状況が厳しくなった企業も多く、事業承継をさらに難しくしている。

### [県を挙げて全方位からサポート]

岡山県では早くから中小企業の実業承継支援に力を入れており、県の産業振興財団や県商工会連合会が後継者育成塾を開催、経営者としての資質向上を目指す後継者の育成に注力している。また、岡山県でもこれまで親族内の事業承継が多かったが、最近では第三者による事業引継ぎが増えており、センターも今後は第三者承継や経営資源の引継ぎ支援が増えていくと見る。

### [身近な支援機関と共に伴走支援]

センターで承継コーディネーターを担う金原光広さんは、後継者育成塾の講師も務めており、油圧技研の中西祐二さんも教え子の1人。「後継者はそうした塾の受講などで経営マインドを高めることが大事です。センターもアドバイスやリーガルチェックだけでなく商工会等の支援機関と共に伴走して支援する体制を整えています」（金原さん）。

後継者育成から事業引継ぎまで、中小企業の実業承継を全方位からサポートする体制を整えている。

鹿児島県

## 事業承継は早めの相談がカギ 鹿児島県事業承継・引継ぎ支援センター



「経営者が高齢化し、事業承継が難航するケースが増えていきます。事業の価値を高め、売却や引き継ぎの準備を整えるためにも、早い段階で相談することが大切です。第三者とのマッチングによる支援もしていますので、一人で悩まず、ぜひ私たちの支援を活用してください」（鹿児島県事業承継・引継ぎ支援センター統括責任者・満澤美智雄さん）

鹿児島県は、黒豚や牛などの畜産業を中心とした一次産業が盛んで、県内には中小零細企業や個人事業主が多く、地域の産業基盤を支えている。しかし、コロナ禍を経て、多くの事業者が赤字を抱えており、経営が困難な状況により、事業承継がスムーズに進まないケースが増えているという。

### [支援体制の強化と課題]

鹿児島センターは、令和4年度から事業承継の支援体制を強化し、特に親族内承継の成約が大幅に増加する成果を上げた。センターでは専門家のアドバイスや事業性向上の支援を通じて、円滑な承継を目指している。また、離島や遠隔地域に対しても積極的に支援の手を広げ、地域特有の課題に対応するため、関連する各機関との連携を深め、事業承継の実現に向けた取り組みを強化しているという。

### [早期相談と事業磨き上げの重要性]

同センターは、早期の相談と事業の磨き上げに重点を置いている。事業承継を希望する経営者が売却可能な状態にあるよう、事業性向上のアドバイスを行い、親族内承継や第三者承継の支援を強化している。また、地域の金融機関や商工会と連携し、定期的な相談会を年20回以上開催してセンターの認知度を高め、経営者が気軽に相談しやすい体制を整えている。

# 事業承継・引継ぎ支援センターの特徴

## 事業承継にお困りですか？

公的機関である「事業承継・引継ぎ支援センター」では経験豊富な専門家が**中立的な立場**から**秘密厳守**でご相談を承ります

相談無料

12万人以上の  
経営者が相談



お気軽に各都道府県のセンターまでご相談ください！

(WEB または、裏面に記載の電話番号よりお問い合わせいただけます)

詳しくはWEBサイトをご覧ください



事業承継・引継ぎポータル

検索

<https://shoukei.smrj.go.jp/>



## 事業承継・引継ぎポータルサイト

事業承継・引継ぎポータルサイトでは、多くのセンター支援事例やセンターの支援内容、お役立ち情報を発信しています。ぜひご覧ください。



借金があったら、引き継げない!?  
温泉宿の女将になった娘の覚悟。



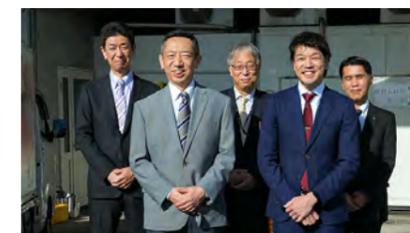
センターの支援で未来が見えた!  
遅れていた事業承継が早期実現。



後回しにしてきた問題を関係者全員で考え円滑に事業承継。



後継者人材バンクに登録した若手  
起業家への事業引継ぎを実現!



廃業から一転、譲受先に再就職。  
想像もなかった未来が見えた!



息子のような後継者に思いを託す。  
創業114年の食肉販売を絶やすな!

# 全国の事業承継・引継ぎ支援センター一覽



廃業を考えていたが、事業承継という選択肢もあると個人の経営者から聞いた

子どもに後を継がせたいが、どうやって準備すればいいのか…

まだ先のことだが、そろそろ事業承継について何をすべきか知っておきたい

都道府県名	電話番号	所在地
北海道	011-222-3111	札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター 6階
青森	017-723-1040	青森市新町 2-4-1 青森県共同ビル 7階
岩手	019-601-5079	盛岡市清水町 14-17 中圭ビル
宮城	022-722-3884	仙台市青葉区二日町 12-30 日本生命勾当台西ビル 8階
秋田	018-883-3551	秋田市山王 2-1-40 田口ビル 5階
山形	023-647-0663	山形市城南町 1-1-1 霞城セントラル 13階
福島	024-954-4163	郡山市清水台 1-3-8 郡山商工会議所会館 403号
茨城	029-284-1601	水戸市桜川 1-1-25 大同生命水戸ビル 9階 903号
栃木	028-612-4338	宇都宮市中央 3-1-4 栃木県産業会館 7階
群馬	027-265-5040	前橋市亀里町 884-1 群馬産業技術センター内
埼玉	048-711-6326	さいたま市浦和区高砂 3-17-15 さいたま商工会議所会館 4階
千葉	043-305-5272	千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2号館 12階
東京	03-3283-7555	千代田区丸の内 3-2-2 丸の内二重橋ビル 6階
東京(多摩)	042-595-9510	立川市曙町 2-38-5 立川ビジネスセンタービル 12階 立川商工会議所会館内
神奈川	045-633-5061	横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 12階
新潟	025-246-0080	新潟市中央区万代島 5-1 万代島ビル 19階
長野	026-219-3825	長野市若里 1-18-1 長野県工業技術総合センター 3階
山梨	055-243-1830	甲府市大津町 2192-8 アイメッセ山梨 3階
静岡	054-275-1881	静岡市葵区紺屋町 11-4 太陽生命静岡ビル 7階
愛知	052-228-7117	名古屋市中区栄 2-10-19 名古屋商工会議所ビル 6階
岐阜	058-214-2940	岐阜市神田町 2-2 岐阜商工会議所 3階
三重	059-253-3154	津市栄町 1-891 三重県合同ビル 5階
富山	076-444-5625	富山市高田 527 情報ビル 2階
石川	076-256-1031	金沢市鞍月 2-20 石川県地場産業振興センター新館 2階
福井	0776-33-8279	福井市西木田 2-8-1 福井商工会議所ビル 8階
滋賀	077-511-1505	大津市打出浜 2-1 コラボしが 21 9階
京都	075-353-7120	京都市下京区四条通室町東入 京都商工会議所 中小企業支援部内
奈良	0742-53-5888	奈良市西大寺南町 8-33 奈良商工会議所会館 3階
大阪	06-6944-6257	大阪市中央区本町橋 2-8
兵庫	078-303-2299	神戸市中央区港島中町 6-1 神戸商工会議所会館 8階
和歌山	073-499-5221	和歌山市西汀丁 36 和歌山商工会議所 5階
鳥取	0857-20-0072	鳥取市本町 1-101
島根	0852-33-7501	松江市母衣町 55-4 松江商工会議所ビル 6階
岡山	086-286-9708	岡山市北区芳賀 5301 テクノサポート岡山
広島	082-555-9993	広島市中区基町 5-44 広島商工会議所ビル 7階
山口	083-902-6977	山口市小郡令和 1-1-1 山口市産業交流拠点施設 4階
徳島	088-679-1400	徳島市南末広町 5-8-8 経済産業会館 (KIZUNA プラザ) 1階
香川	087-802-3033	高松市番町 2-2-2 高松商工会議所会館 1階
愛媛	089-948-8511	松山市久米窪田町 487-2 テクノプラザ愛媛別館 1階
高知	088-802-6002	高知市本町 4-1-32 こうち勤労センター 4階
福岡	092-441-6922	福岡市博多区博多駅前 2-9-28 福岡商工会議所ビル 8階
佐賀	0952-27-7071	佐賀市白山 2-1-12 佐賀商工ビル 4階・6階
長崎	095-895-7080	長崎市桜町 4-1 長崎商工会館 1階
熊本	096-311-5030	熊本市中央区横紺屋町 10 熊本商工会議所 5階
大分	097-585-5010	大分市金池町 3-1-64 大分県中小企業会館 5階
宮崎	0985-72-5151	宮崎市錦町 1-10 KITEN ビル 7階
鹿児島	099-225-9550	鹿児島市東千石町 1-38 鹿児島商工会議所ビル 4階
沖縄	098-941-1690	那覇市久茂地 1-7-1 琉球リース総合ビル 5階